

あくしゅ



第 82 便

～山口市の健康診査・人間ドック・
がん検診のおしらせ～



地域連携室

災害グッズがお店に並んでいるのをよく見かけます。災害も多くなっていますし、備えが必要ですよね。

病気も同じように、早期発見・早期治療が大事だと思います。

最近の嬉しいお知らせは、柴田病院1階のトイレが新しくなったことです！

【特定健康診査】

- 検査内容：問診、身体計測、血圧測定、血液検査、尿検査、心電図検査など
- 対象者：市国民健康保険に加入されている40～74歳の方
- 期間：令和3年6月1日～12月20日
- 持参品：①特定健康診査受診券、②質問票、③山口市国民健康保険被保険者証
- 料金：無料

【後期高齢者医療制度の健康診査】

- 検査内容：問診、身体計測、血液検査、尿検査、貧血検査など
- 対象者：後期高齢者医療制度に加入されている方
- 期間：受診券到着後～翌年3月31日
- 持参品：①健康診査受診券、②質問票、③後期高齢者医療被保険者証
- 料金：500円

【国保人間ドック】（要予約）

人間ドックは、特定健診の内容や各種がん検診などがセットになったものです。
40～74歳の方は、特定健診と人間ドックのどちらか一方のみを1年に1度受診できます。

- 期間：令和3年6月1日～令和3年12月20日

【がん検診】 期間 令和3年6月1日～12月20日

- 胃がん検診(要予約)：40歳以上 自己負担2,300円(バリウム)
50歳以上 2,600円(内視鏡) ←受付を再開しました！
(70歳以上500円)
- 大腸がん検診： 40歳以上 自己負担 900円(70歳以上500円)
- 前立腺がん検診： 50歳以上で偶数年齢になる男性
自己負担 1,000円(70歳以上500円)
- 肝炎ウイルス検診 40歳以上 自己負担1,000円(70歳以上500円)

※全ての健診・人間ドック・がん健診において、新型コロナウイルス感染拡大防止の為健康状態や県外への往来の有無など確認させていただいております。

共用基準範囲について

当院では共用基準範囲を採用しています

【共用基準範囲とは】

JCCLS(日本臨床検査標準協議会)が健常者の大規模調査データをもとに、日本国内で共通に利用可能な基準範囲として設定したもので、日本医師会をはじめとする関連団体の賛同を得てリリースされた基準範囲です。

【導入のメリットは？】

「共用基準範囲」は、国内の多くの施設での採用が想定されており、採用施設ではどこで検査しても同じ評価基準で判定されることとなります。

当院での検査項目の一覧①

検査項目	基準範囲	検査で何がわかるか？
総蛋白(TP)	6.6~8.1 g/dl	栄養状態が悪いと低下し、慢性の炎症があると増加する
アルブミン(ALB)	4.1~5.1 g/dl	肝機能障害や栄養失調などで低下する
A/G比	1.32~2.23	健康・栄養状態を判断する指標
AST(GOT)	13~30 U/L	様々な肝疾患で増加する
ALT(GPT)	M 10~42 U/L	様々な肝疾患で増加する
	F 7~23 U/L	
γ-GTP	M 13~64 U/L	アルコール性肝炎や胆道疾患で増加する
	F 9~32 U/L	
ALP(IFCC法)	38~113 U/L	胆道疾患で増加するが、骨の病気でも増加する
コリンエステラーゼ(ChE)	M 240~486 U/L	肝機能低下や低栄養で低下し、脂肪肝や糖尿病で高値となる
	F 201~421 U/L	
LDH(IFCC法)	124~222 U/L	様々な肝疾患で増加する
血清アミラーゼ(AMY)	44~132 U/L	唾液腺や膵臓が破壊される病気で増加する
CPK(CK)	M 59~248 U/L	脳挫傷や心筋梗塞、けいれんなどで増加する
	F 41~153 U/L	
血清鉄(Fe)	40~188 μg/dl	鉄欠乏性貧血で低下する

M：男性 F：女性

当院での検査項目の一覧②

検査項目	基準範囲	検査で何がわかるか？
総コレステロール	142～248 mg/dl	血液のコレステロールの総量
中性脂肪	M 40～234 mg/dl	脂肪分の取りすぎのみならず、取りすぎた糖分からも合成される
	F 30～117 mg/dl	
HDLコレステロール	M 38～90 mg/dl	体内に溜まったコレステロールを除去してくれ、長生き者では高い
	F 48～103 mg/dl	
LDLコレステロール	65～163 mg/dl	高くなると血管に蓄積して動脈硬化の原因となる
尿素窒素(UN)	8～20 mg/dl	腎臓が悪くなると増加する
クレアチニン(CRE)	M 0.65～1.07 mg/dl	腎臓が悪くなると増加する
	F 0.46～0.79 mg/dl	
尿酸(UA)	M 3.7～7.8 mg/dl	腎臓が悪くなると増加し、痛風などでも増加する
	F 2.6～5.5 mg/dl	
ナトリウム(Na)	138～145 mmol/l	脱水や尿崩症などで増加する
カリウム(K)	3.6～4.8 mmol/l	体の中で細胞が壊れたり腎臓が悪くなったりすると増加する
クロール(Cl)	101～108 mmol/l	水代謝異常や酸塩基平衡バランスの崩れで変動する
カルシウム(Ca)	8.8～10.1 mg/dl	副甲状腺や腎臓の病気で増減する
無機リン(IP)	2.7～4.6 mg/dl	副甲状腺の病気で増減する
血糖(空腹時)	73～109 mg/dl	糖尿病で増加し、食事の影響を受けるので空腹時採血が基本
HbA _{1c} (NGSP)	NGSP 4.9～6.0 %	過去1ヶ月の血糖コントロール状態の指標
CRP	0.00～0.14 mg/dl	全身の炎症や癌などで増加する

当院での検査項目の一覧③

検査項目	基準範囲	検査で何がわかるか？
白血球数(WBC)	3300～8600/ μ l	炎症や白血病で増加し、抗がん剤の副作用で低下する
赤血球数(RBC)	M 435～555 $\times 10^4$ / μ l	貧血で低下する
	F 386～492 $\times 10^4$ / μ l	
ヘモグロビン(Hb)	M 13.7～16.8 g/dl	赤血球中の酸素を運ぶ物質で、貧血で低下する
	F 11.6～14.8 g/dl	
ヘマトクリット値(Ht)	M 40.7～50.1%	赤血球全体の容積の割合で、貧血で低下する
	F 35.1～44.4%	
MCV	83.6～98.2fl	赤血球1個あたりの大きさの指標で、貧血で低下するがある種の貧血では増加する
MCH	27.5～33.2Pg	赤血球の色の濃さで、貧血で低下する
MCHC	31.7～35.3 g/dl	赤血球1個あたりの色の濃さで、貧血で低下する
血小板(Plt)	15.8～34.8 $\times 10^4$ / μ l	低下すると出血しやすくなる

M：男性 F：女性

※基準範囲は、健康な人の多くが入る範囲で、検査結果を解釈するための目安として用いられます。

※基準範囲内でも症状がみられることや、病気と診断される場合もあります。

※基準範囲を外れた＝異常、病気があると即断してはいけません。

※基準範囲に入った＝正常、病気が無いと即断するべきではありません。

※検査結果の解釈は、様々な検査結果元に「総合的な判断」により行われます。

※個人的な解釈により、間違った判断をしないよう結果の解釈に関しては「医師」に確認してください。

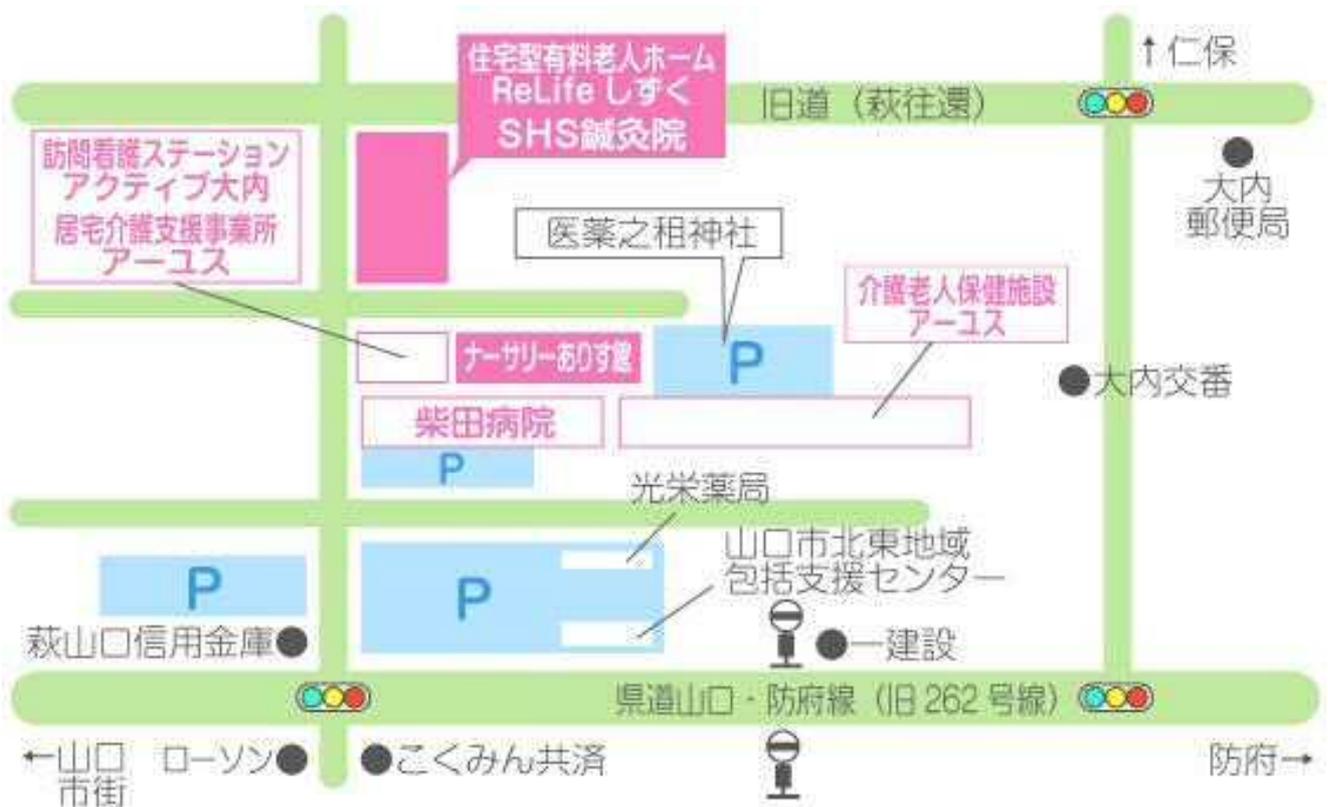
<基本理念>

私たちは利用者の人間性を尊重し、
保健と医療と福祉の研鑽につとめ、
地域社会に貢献します。

<モットー3S>

Speedy **S**teady & **S**miley medical service
迅速に 確実に ほほえみの医療サービス

<アクセスMAP>



<連絡先>

柴田病院	〒753-0221 山口大内矢田北五丁目11番21号
☎ 代表番号	083-927-2800
☎ 地域連携室	083-927-1847
介護老人保健施設アーユス	〒753-0221 山口市大内矢田北五丁目10番1号
☎ 代表番号	083-927-8363
居宅介護支援事業所アーユス	〒753-0221 山口市大内矢田北五丁目11番1号
☎ 代表番号	083-941-2001
訪問看護ステーションアクティブ大内	〒753-0221 山口市大内矢田北五丁目11番1号
☎ 代表番号	083-927-8358